

第69回理事会（平成15年度第8回）議事録

財団法人 神奈川県スキー連盟

1. 日 時 平成15年5月7日（水）19:00～20:30
2. 場 所 神奈川県社会福祉会館 4階 第4研修室
3. 出席理事 副会長：古郡 敬一、野地 澄雄、
専務理事：山田 隆、
常務理事：片 忠夫、渡辺 三郎、菊地富士夫、越前谷芳隆、
理事：柴田 秀一、上田 英之、百海 廷、本田 衛義、徳本 進、
堀 祐樹、長久保巖、斎藤 幸雄、岡本 洋一、木村 徳善、
菊池 勇二、清水 忠、栗田 謙悟、平沢 幸一
（現理事数21名）
欠席理事 （会長）河野 洋平、（副会長）廣瀬 稔、（理事）早川 博基、本宮 敏宏
4. 出席監事 生駒 利一、徳田 盾夫
4. 議長選出 山田 隆専務理事を指名
5. 議事録署名人選出 斎藤 幸雄理事、木村徳善理事を選出
6. 書記 大川広樹広報委員を指名
7. 議 事

1) 競技本部関係

(1) 報告事項

菊池競技本部長から、第1回チャレンジカップ第3戦野辺山大会と春季アルペンジュニア総合合宿について報告があった。チャレンジカップに関しては、オープン部に延べ10人、チェアスキー部に述べ4人の参加があり、目標の一つに掲げていた新たな競技者層の開拓に関しては一応の成果が出たとの報告があった。ジュニア合宿に関してはジュニアの部を作った成果があり、レベルの向上が見られるとの報告があった。

また大会の外部委託に関連して、チャレンジカップの際に役員に対する講義やセミナーを行ったとの報告があった。

(2) 審議事項

菊池競技本部長より、今後の大会は1～2事業をスキー場に全面委託し、連盟派遣役員をジュリーメンバーと計算委員の10名以内に抑えることで経費の節約を図りたい。シーズンまでに役員に対する講義やセミナーを行うので大会の質を落とすことはない判断しているとの提案があった。山田専務理事より、試してみるに値することであるとの意見があり、承認された。

また、山田専務理事より、県選手権でインスペクション前の15分くらいでも良いので開会式を行えないか検討願いたいとの意見があり、来期の計画に盛り込むことになった。

2) 教育本部関係

(1) 報告事項

渡辺教育本部長から、千葉県連へ「合同開催行事・行事参加協力お願い書」を郵送したとの報告があった。

続いて平成15年度第2回拡大教育本部部会の日程（5月24日）についての報告と、15年度の教育本部行事の参加状況についての報告があった。片総務本部長より、教育本部の事業についても役員の人数を見直す必要があるのではないかと意見があり、それに対して山田専務理事より、それも必要なことであるが、儉約一辺倒では組織の活性化につながらない。会員数・参加者数を増やす努力をして欲しいとの意見があった。

また、教程およびビデオ等の販売内訳について、約28万円の収益があったと報告があり、この収入は予算に組み込んでいなかったため、雑収入に項目を作ることになった。

また、翠川和也SAJデモが、SAJのデモ合宿に参加したとの報告があった。

山田専務理事から、SAJの教程について、昨年までの5冊に続いて今秋にもう1冊が刊行されるとの報告があった。続いて環富士山の大会において、ジャッジのボードが欲しいとの要望が

あったが、千葉県連所有のボードを神奈川が預かることになったとの報告があった。

3) 総務本部関係

(1) 報告事項

慶弔関係

山田専務理事から、東京都連の専務理事であった副島茂氏の逝去について報告があった。

各種委員会

徳本理事から、広報委員会の活動状況と第45号SAKだよりの内容について報告があった。

片総務本部長から、規約規程委員会と活性化委員会の活動についての報告があった。

その他

上田理事より、会計報告・事業報告の締め切りが5月末であるが、極力25日までに清算・報告して欲しいとの意見があった。

(2) 審議事項

平成16年度予算(案)について

上田理事より平成16年度の予算案について説明があった。

新規事業としてスノーボードクロスの大会があるが、トリノ五輪から正式種目になる関係で、SAJから50万円×2回の補助金が出ることになっている。また、スポーツくじ助成金が200万円の申請に対して支給が60万円となったが、予備費などから調整して最終的には収支均衡のかたちにする説明された。

山田専務理事から、金銭的に逼迫した状況で厳しい予算案となっており、状況を打破するために具体的な行動を起こす必要がある段階だが、安易な手当てカットなどは行わずに努力や工夫をして前進したいとの意見があった。

規約規程について

片総務本部長から、ブロック規程と運営規則の改定案が報告された。越前谷事務局長より、規定の改廃については運営規則と同じく「理事会の議決により行い、評議員会へ報告する」とすべきではないかとの意見があり、承認された。今回承認された案を叩き台として委員会に諮り、そこで意見が挙げれば次回の理事会で承認を得て評議員会で報告することとなった。

4) その他

(1) 県総体について

栗田理事より、6月に県総体について現地との打ち合わせを行うとの報告があった。

(2) 監事から

徳田監事より、県選手権の開会式は必ず行う方向で考えて欲しいとの意見があった。

生駒監事より、収入が増えたので支出も増やすという運営ではなく、決められた予算を守ることも大事であるという意見があった。山田専務理事より、支出増となる場合は理事会で報告を受けてその都度検討している。収入が減少した場合も予算通りに運営するわけにはいかない。フレキシブルに運営していきたいとの返答があった。

以上、この議事録が正確であることを証明するため、議事録署名人、下記に署名する。

平成15年 月 日

議 長 印

議事録署名人 印

議事録署名人 印